

令和3年度（2021）事業報告書
（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）

〔認定特定非営利活動法人 こども医療支援 わらびの会〕

1. 事業実施

★ コロナウイルス禍、がじゅまるの家は閉鎖することなく稼働、他事業は制限はあったが実施できた。

- [1] ファミリーハウス「がじゅまるの家」運営：理念に添った運営を目指し、利用者が心身共に安らげる滞在施設となるよう努めた。コロナ禍にあっても、閉鎖することなく通常通り運営できた。感染防止のための物品等を寄贈いただき昨年引き続き、沖縄県立図書館の一括貸出継続利用により、がじゅまるの家利用者への図書の提供を図った。
- [2] 病院ボランティアに関する事業は、今年度も民間福祉基金の助成を頂いたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い予定していた2回の講座は中止、スキルアップのための勉強会も新型コロナウイルスの影響で中止した。医療センターでは、一部活動を再開したが、琉大病院のボランティア活動は、前年度に引き続き今年度も休止となった。
- [3] 広報事業は、ホームページの更新、「わらびの会だより 16号」の発行・発送により広報に努めた。税法上の優遇措置が受けられる事を積極的に周知し、資金調達に努めた。
- [4] その他、目的達成事業 ◎今年度も県小児慢性特定疾病児自立支援事業（ピアカウンセリング事業）の委託を受けたが、新型コロナウイルスの影響で、各病院での活動は全面的に中止し、構成団体での相談活動となった。セミナーは初級編・ステップアップ編を実施し、また 病児きょうだい支援の勉強会の開催で、病児とその家族の支援に努めた。◎合同クリスマス会は、新型コロナウイルス感染防止の対策のため、今年度もドライブスルー方式で実施した。◎ こども病院ラジオ（キラキラぶればランド）は、新型コロナウイルスの影響で 病院内外での収録が難しく、そのために放送も中止となった。ラジオ（キラキラぶればランド）の提供をエフエム那覇の協力により実施する。◎ハウスでの預かり保育の実施。◎ 「がじゅまるの家」でのきょうだい児の預かり保育は なかった。◎夢プロジェクトは、名護市の事業者公募に応募予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で実施がなかった。併せて、沖縄愛楽園で開催予定の「わらびの会 合同交流会」も実施できなかった。

2. 事業の実施に関する事項

[1] 特定非営利活動に係わる事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
遠隔地病児家族等の宿泊施設運営事業	ファミリーハウス「がじゅまるの家」受託運営	4月～3月 24時間体制	ファミリーハウス「がじゅまるの家」	10人	病児とその家族、ハウススタッフ 他	9,445
病院ボランティアに関する事業	病児家族の支援活動をする病院ボランティア養成講座(第30・31期)の開催	中止	-	-	一般市民・学生 60人	0
	病院ボランティアの活動支援と活動中のボランティアのスキルアップのための勉強会	中止	-	-	病院ボランティア 30人	0
広報事業	ホームページ管理・更新	通年	わらびの会事務局	2人	会員・医療関係者・一般市民	70
	わらびの会だより16号 発行	8月	わらびの会事務局	5人	会員・関係機関・一般市民	453
その他、目的達成事業	ピアサポート活動(相談)実施	通年	わらびの会構成団体	-	病児家族、病児に関わりのある方々	147
	ピアサポートセミナー及び勉強会開催	11, 1, 3月	オンライン開催	8人	わらびの会ピアサポーター	268
	合同クリスマス会開催	12月	小児保健センター 駐車場	40人	わらびの会 病児と きょうだい210人	122
	がじゅまるの家預かり保育	通年	がじゅまるの家	2人	がじゅまるの家 利用家族	3
	こども病院ラジオ(キラキラぶればランド)	中止	こども医療センター	-	医療センター入院中病児 家族・ハウス利用家族	0
	夢プロジェクト	中止	沖縄愛楽園ほか	-	わらびの会 会員・ 一般市民	0

[2] その他の事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
自動販売機による飲料水販売事業	調整中					-